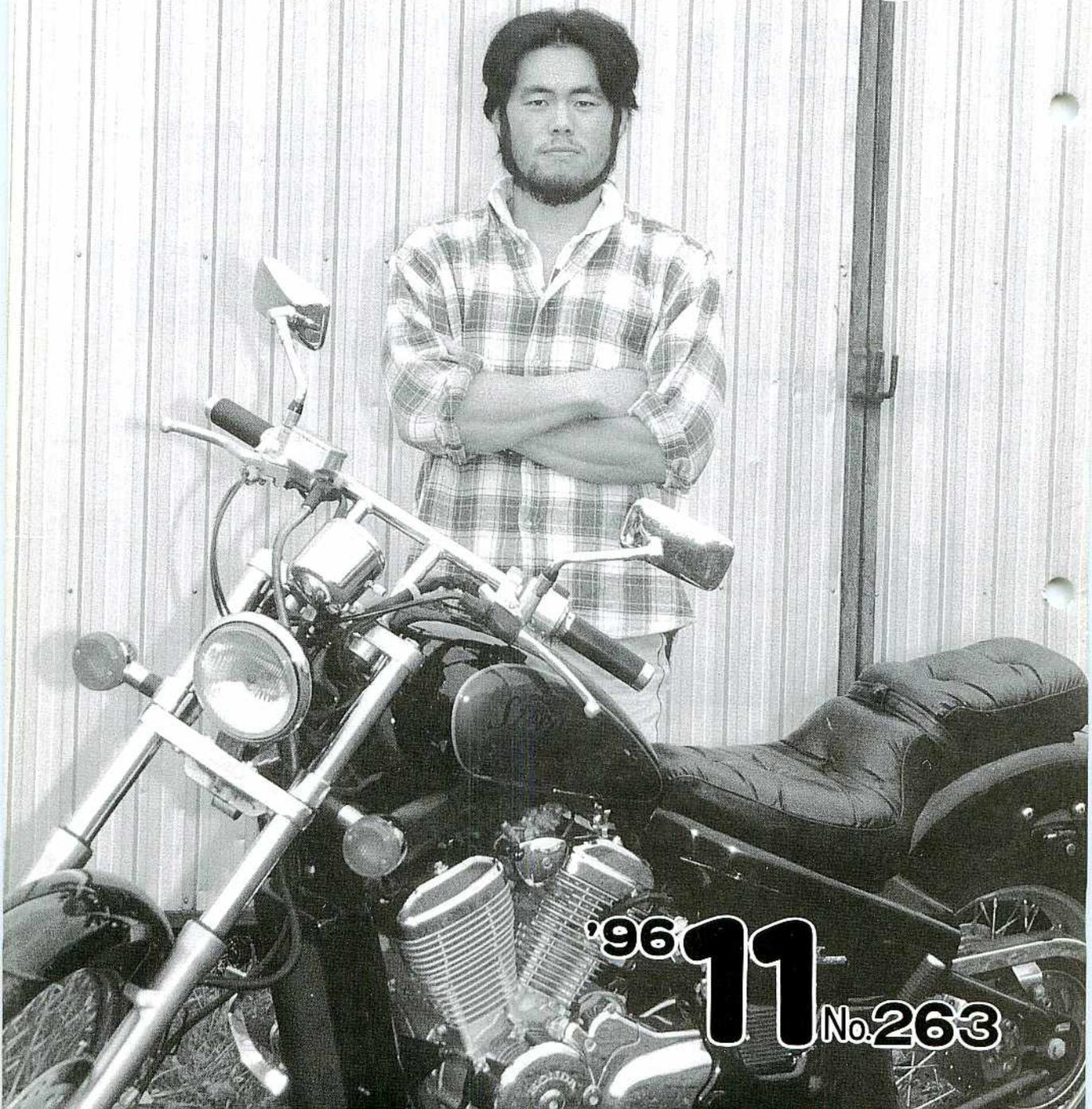


# のうきよう まがしつ



'96

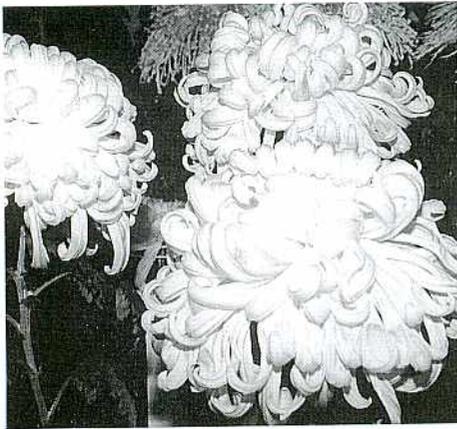
11

No.263

# のうきよう ちがいつ

花、こしげ

赤い菊…私は愛する  
黄い菊…なのおづりの愛  
白い菊…真実

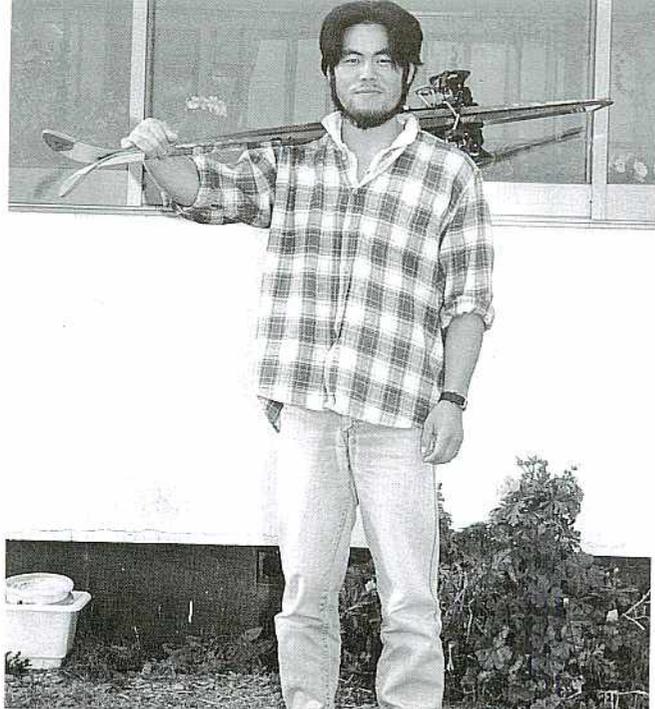


## もくじ

- 3 ———— <未来を担う若者>  
海外での実習が大きな自信に  
依橋地区 中村正生さん(25歳)
- 4 ———— いまこそ協同の理念を  
中央会会長 藤野貞雄
- 5 ———— Aコープ中標津店開店26周年大感謝祭
- 6 ———— 盛会に終わったミルクボール大会
- 7 ———— ETに関する視察研修開催される
- 8~9 — 役員視察研修報告  
理事 長正路 清
- 10 ———— <わが家の人気者>  
ボクは小さなあばれん坊  
武佐 清原優威くん(1歳8カ月)
- 11 ———— <組合長日誌>  
産地ブランド型が急伸
- 12~13 — <営農技術>  
生涯乳量を高める
- 14 ———— <暮らしの知恵袋>  
冷え性にならないために
- 15 ———— 理事会の経過
- 16 ———— 税の知識
- 17 ———— 女性部チーズ作り講習会
- 18~19 — 今月のフォトアルバム
- 20 ———— 10月の組合日誌

# あす 未来を 担う若者

俵橋地区 中村正生さん(25歳)



雪が降るのが待ち遠しい正生さん

人生においての生き方は「一、神、二、家族、三、職業」と話す中村正生さんは、俵橋地区で酪農経営を営む中村敏夫さんの後継者です。

正生さんの家が教会を主宰している事もあり、地元の中学校を卒業後、山形県のミッションスクー

を体験した後、中標津にもどり、実家の酪農に従事しました。

その後、単身で海外への実習に出され、二十歳でカナダ、二十三歳でデンマークと、それぞれ一年間住み込みで実習の旅へ…。

その海外での実習で得たことは現在、正生さんにとって貴重な体

## 海外での実習が大きな自信に

ルへと進学し、慣れない寮生活の中で一人立ちする、たくま

験と、大きな自信となっているようです。(この話しの途中、思い出が込み上げてきたのか、目に光るものが……)

さを身につけ、高校卒業後はアジア・アフリカなど海外の農業指導者を養成している栃木県のアジア学院に入

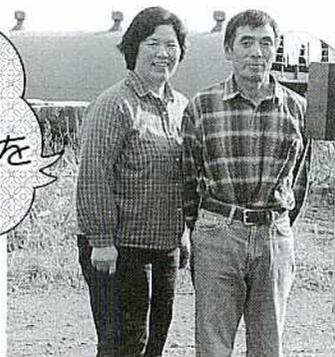
現在、酪農ヘルパー業務の青年ヘルパー要員として緊急時など町内各地区で活躍中で、年中、忙しい日々を送りつつ、夏はバイク、冬はスキーで、それぞれ仕事の合間を見つけて自分の趣味を楽しんでいます。

学し、一年間のボランティア活動と世界の人たちとの共同生活

また、先に書いた「人生においての生き方」について、人生の目標が決まっていれば、たとえ道のりが違っていても、たどりつく所

失敗をおそれず、  
目指すところを  
確実に…

は同じ。失敗を恐れず目指す頂点を一歩いっ歩着実に…と話す中村さん一家です。



中標津  
シオンの家キリスト教会



# いまこそ協同の理念を

北海道農業協同組合中央会会長 藤野貞雄

十一月十九日は第四十九回の農業協同組合法公布記念日であります。この法律は、昭和二十二年に農村の民主化を目標にして制定されました。

即ち、農地改革とあわせて農民の経済的、社会的発展を目指す農業協同組合の育成を基本としたものであり、わが国における戦後の農業政策において果たしてきた役割は、極めて大きいものと評価いたしております。

当時は、国民食糧の確保は最重要課題であり、農協を軸とした農業の振興こそすべての産業の基をなしたといえましょう。そして、農協は食糧の安定生産により、国民生活の維持発展とともに、組合員の地位向上に大きく寄与してきたものであります。

いま、日本の農業は、国内農畜産物の生産縮小、急増する輸入食糧など、荒波におそわれています。また、構造、生産、価格政策など重要な課題も山積みしております。しかし、一方では、世界的には食糧需給のひっ迫、地球環境の悪化から、農業の見直し気運もあります。

この中で、私たちは農業再生の条件も探らなければなりません。このためには、農業、農村に対する国民的合意を得ることも必要であります。

国民経済や国土政策で、農業の役割、環境保全などを含め、農業や農村の重要性を改めて今日的な価値として提値として提言することも大切ではないでしょうか。

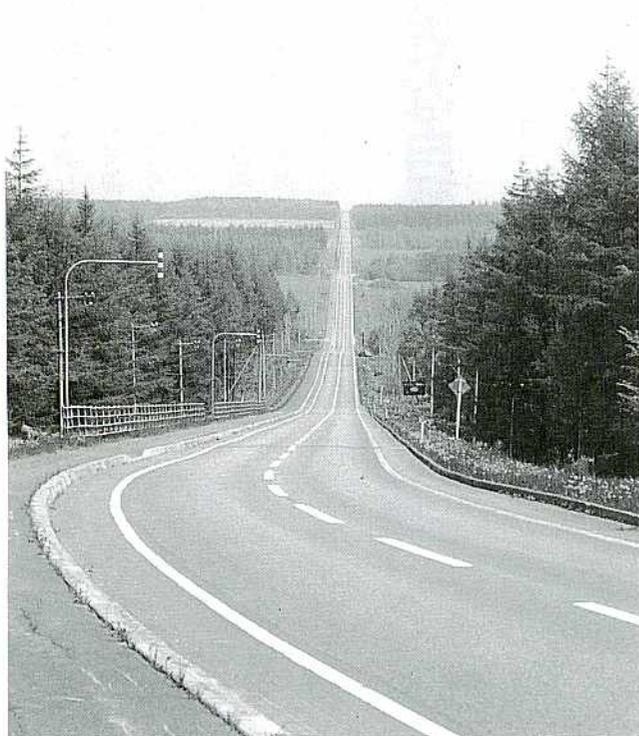
特に本道の持つ大規模、高生産



性を生かし、安全で美味しく、より良い農畜産物を安定的に国民に供給し、名実ともにわが国の食糧

基地として、北海道農業の確立を目指す決意であります。

私たちは、この五十年近い年輪をさらに固く、さらに大きく刻み続け、農協運動を揺るぎない大樹に育まなければなりません。そのためにも協同の理念を改めて語り合い、考え合って、組合員皆の農協を一層発展させるために、ともに頑張ろうではありませんか。



Aコープ中標津店は、開店二十六周年を迎え、十月八日から十日までの三日間を第一弾、十月十五日から十七日まで第二弾、十月二十二日から二十四日までが第三弾と、それぞれ大感謝祭が開催されました。

感謝祭第一弾の三日間は、開店二十六周年記念特別企画として、初日はラッキー賞付きビッグプレゼントとして、先着三百人に牛乳一割と玉子一ケースのセット、ラッキー賞として、天恵米コシヒカ

り五割が二十人にそれぞれプレゼントされ、二日目、お楽しみ抽選会として、先着三百人に米をはじめ、伯爵芋、生鮮食料品

ありがとうございます。  
おかげさまで開店26周年

## Aコープ中標津店 大感謝祭

など百三十人に、残念賞としてティッシュペーパー五個入り  
が百七十人にそれぞれプレゼントされました。

また、三日目には、ラッキー賞付きお楽しみ抽選会、ビッグプレゼントとして、先着三百人に中標津農協乳製品工場のコーヒーマルチ牛乳二百五十、二本と、本食一袋のセット、また、ラッキー賞としては、



Aコープ前には開店を待つ長い列が

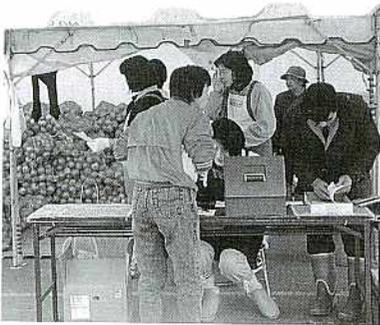
新巻鮭が五十人に開店前から店頭  
に列をなして並んでいたお  
客様に、それぞれプレゼントされ  
ました。

さらに、店頭、店内商品が超激  
安価格で販売され期間中、大盛況  
の感謝祭となりました。

### 越冬用秋野菜

#### 組合員セール

Aコープ中標津店では、十月二十四日、二十五日の両日、越冬用秋野菜の組合員セールを行いました。このセールは約十日間とりまとめを実施し、二十四日、二十五日の二日間で秋野菜の引き渡しをしました。期間中約五十戸の利用がありました。昨年の半分以下の利用戸数で年々減少傾向にあります。また、全道的にも減少傾向にあり、時代の流れからか、漬け物を作る人が少なくなってきたようです。

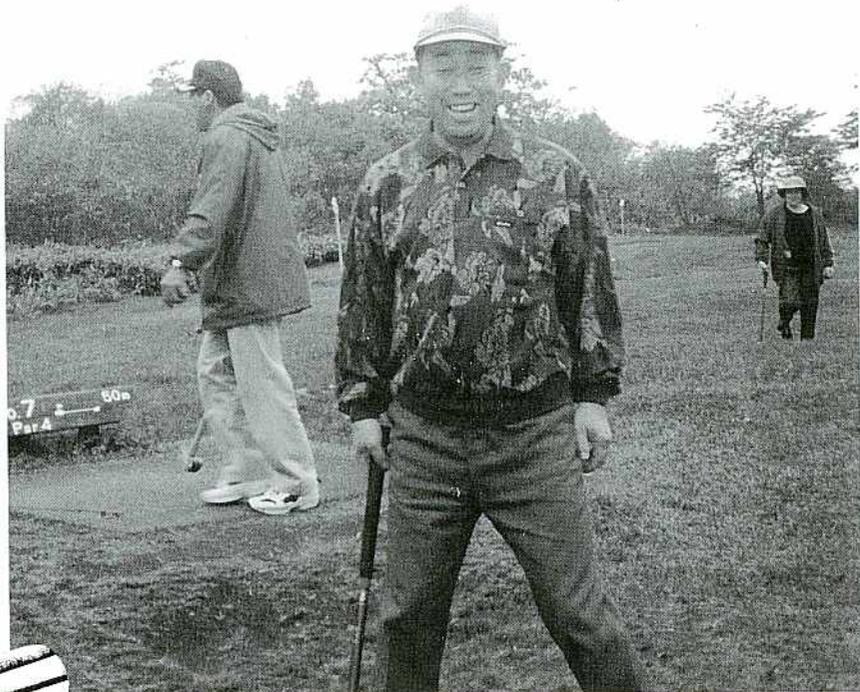


# どこへ 飛んでいくかは ボールにきいて?

## 盛會に終わった ミルクボール大会

去る十月十五日、開陽地域略対主催のミルクボール大会が行なわれました。

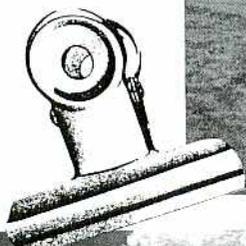
予報では雨の天気も曇り空、気温もまずまずの大会日和の中、三十八人の会員が参加して開催されました。三、四人が一組になり二コースを回るわけですが、初めての人はもちろん、ひそかに練習を重ねている人でも、なかなか思うようにはボールが飛んでいかず、「息子と同じだナ」という声も聞かれました。



少し様子を見てみると、的を大きくはずれ、ホームランをかつとばしている人、コースを傷つけている人、やたら歓声を上げている人などさまざまで、むじゃきにボールとたわむれるその姿は、農繁

期が終わった後でもあり、いかにも楽しそうでした。

大会終了後、森林公園にて焼肉を囲みながら、表彰式が行なわれ、



八角親方と記念の一枚

個人賞、地区対抗、夫婦ペア賞などそれぞれが受賞しました。賞に入らなかった人も、この大会の最大の利点は参加賞がたくさんある事なので、両手におみやげを持ち、皆さん満足して家路につけたと思います。来年もより多くの参加者と、参加賞を期待して楽しかった一日の報告といたします。

中標津ETA (10月5日～6日)

# ETに関する 視察研修開催される

## 優良雌牛確保の取組みと先端技術

二年目を迎える本年、会員六人により実施され、十勝育成牧場・十勝ライブストック及び近隣牧場二戸を視察致しました。



原き肉を囲んでの交流会



十勝育成牧場にて

ライブストックでは、北米よりドナー牛を導入し、受精卵移植の利用により優良遺伝子の提供を行なっていました。

「昼食抜きの夕暮れは、非常に寒い十勝であった!」

今回視察して遺伝的改良の進口中、優良雌牛の確保への取組み方・先端技術において再認識させられた視察であり、また、現地酪農家・関係機関との夕食会が持たれ、情報交換など交流が図れ有意義な視察でありました。

### 現地研修会終える

十月二十一日、武佐・田中牧場において、会員十六人の参加により開催され、田中さんよりETへの取組み方・好成绩の秘訣について話しを伺いました。

その中で、牛を飼う原点であるルーメンを大切にすることとして再度認識を新たにしました(笹原から土を取ってきて牛になめさせ、ミネラルを補給)。

その後、視察報告及びETに関する情報交換など、焼き肉を囲んでの交流会となりました。

育成牧場では昭和五十六年よりETを積極的に取組み、年間七百頭の初妊牛を販売、その新規受胎牛は移植により行なわれていました。ET料金は成功報酬により(受胎十万)実施、時価販売されます。また、技術面において山科先生よりいろいろお話しを頂き、多くの事を学ぶ事が出来ました。

ET実施牧場角倉宅は十五年前よりETに取り組み、百頭以上の娘牛が生産され、その成果を見る事が出来ました。

天野宅ではET事業の輸入卵を導入、その娘牛達が活躍され、牛群のレベルも高い。

去る十月十六日から十八日にかけて、役員視察研修を行いました。その内容を報告させていただきます。

各役員の日程調整がなかなか難しかったわけですが、より多く研修し視野を広める事が、役員として今後の運営に必要であることから、出席役員は若干少なくなりましたが、今回は地方都市にも次々と進出している大型チェーン店などの中で、Aコープが生き残りをかけた、Aコープチェーン北海道本部が進めている「レギュラーチェーン化」に乗り、今年度八月にオープンした株式会社Aコープ旭川北部店を視察。そしてでん粉工場再編整備に乗り、統合された上川北部農協合理化でん粉工場と廃業に至った常盤農協でん粉工場を視察して来ました。

最初にAコープ旭川北部店は、鉄骨ALC板、一部二階建てで、売場面積一千七百十九㎡（五百二十坪）、その内四店のテナントが入り、総工事費四億八千万円で新設され、駐車場百二十台と駐輪場五十台が収容出来ます。一日の客数から駐車場が混雑する様に思いますが、

## 役員視察研修

● 理事長 正路 清

# 今後の農業事業に 参考になった視察

各地のAコープ、  
施設などを見学  
有意義な3日間



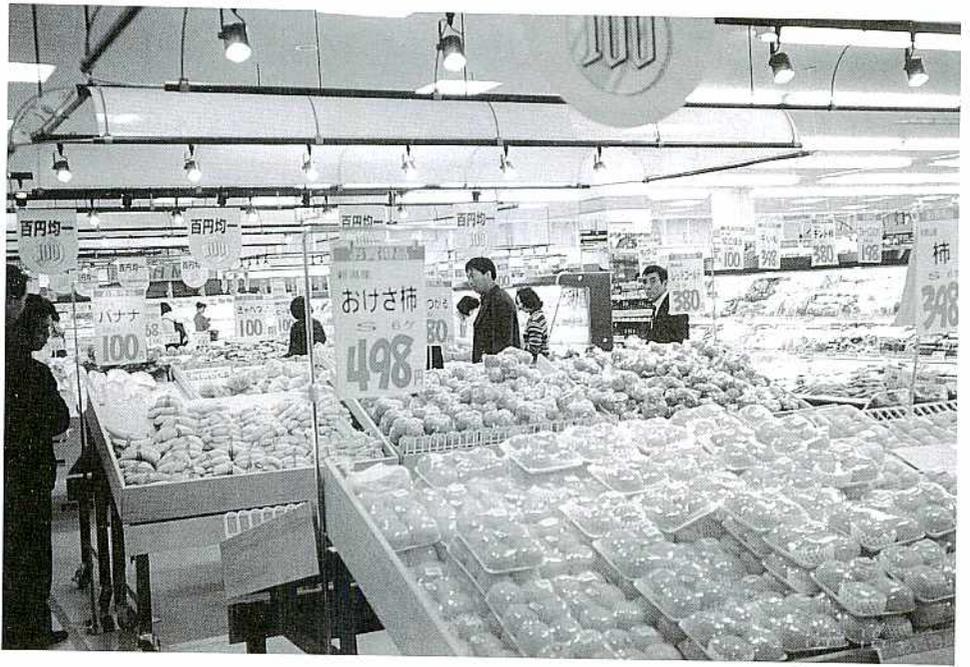
役員視察研修のメンバー全員で

お客様の回転が良く、また自転車を  
利用して来るお客が多い事から、  
日曜、特売日でも特別問題はない  
との事でした。また、この会社運  
営については資本金七千四百万円  
（農協二千四百万円、ホクレン五

ト運営の基本（より良いものを安  
く、いつもきれいにスッキリと、  
良い接客を）を実践するとしてお  
り、店内の感じは非常に良く、品  
揃えも豊富で生鮮食品の鮮度もす  
ばらしく良かったし、何よりも店

千万円）出資で、役員  
は六人（内常勤一人）、  
監査役二人で構成され  
ており、社員は四十三  
人（男性三十人、女性  
十三人）と、パート、  
アルバイト約百六十人  
で運営され、営業時間  
は午前十時より午後十  
時（日曜午前九時より）  
までとなっていて、早  
朝数時間のパートから、  
夜は学生アルバイトを  
使い六店舗を経営して  
います。

店舗運営コンセプト  
として、「地域に密着し  
たスーパーマーケット  
の形態を主体として、  
食の日常のワンストップ  
ショッピングの実現  
と、スーパーマーケッ



Aコープ旭川北部店を視察

内は、ゆったりとした空間がとってあり、店内全体がスツキリとしていました。そして、お客は多くの若い人達が利用しており、カート

を押しながら、買い物をしていました。管理部長の山内さんも「新店舗になって、若い人に客層が変わり

ました」と言っておりました。

次に音威子府村の常盤農協を訪問し、でん粉工場の再編整備事業に乗り、工場合併廃止に至った経過と、残存施設の処理について視察し、合併に至るまでの状況、問題点などの話しを聞いてきました。

この工場は昭和三十五年より操業を始め、十万〜二十万俵の原料を処理していましたが、平成二年より独立採算では運営出来ず、農協の持ち出しでの操業となり、平成七年には三万六千五百俵の処理工場となりました。

再編合理化の検討はこの頃より行っており、時間をかけ合併構想(案)の資料を持ち寄り検討をして来ましたが、この様な状況下であっても生産者からは、非常に反発があり、合併問題は一時中止された時もありましたが、作業部会などの議論を重ね、馬鈴しよを取り巻く環境を鑑みた場合、合併のメリットについて単独操業よりも有利であるとの結論に達し、早期合併にふみ切る事を決めました。残存施設などの処理については、機械施設解体から曝気槽滞流池埋

戻工事迄で、国費三分の一、道費三分の一の助成を受け、整備を行なっていました。

その後、剣淵農協を訪問し、統合された上川北部農協合理化でん粉工場を視察しました。

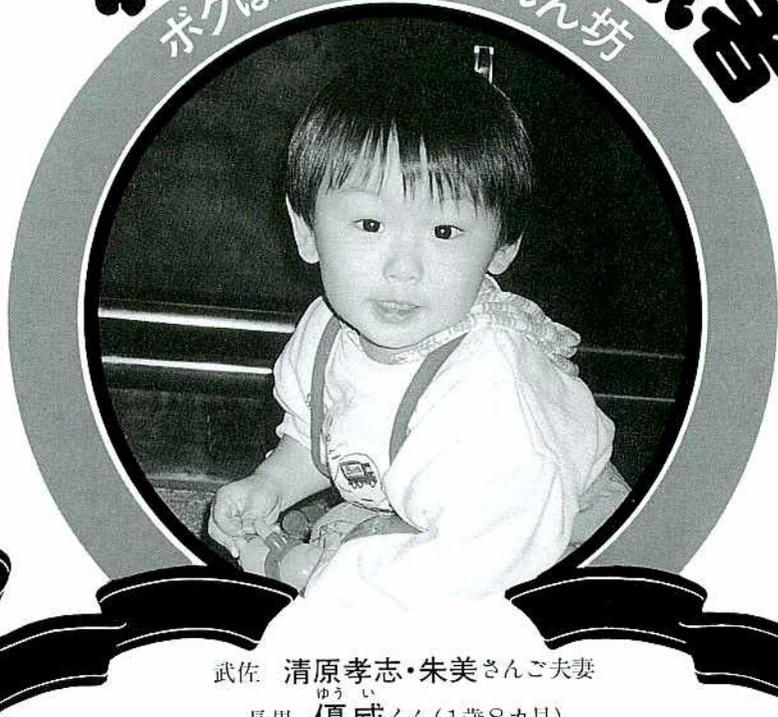
この工場は今年度から九農協(剣淵、士別市、和寒町、智恵子、幌加内、多奇、天塩朝日、美深、常盤)で構成され、各農協より総額一億七千八百万円の受入れ保証金を負担してもらい、平成八年度集荷計画は二万七千トで操業を行なっていました。人件費を節約するため出来るだけ機械を使い、一部はロボット作業を取り入れており、工場内には数人の人しかいませんでした。

統合により広い範囲から原料もが運ばれ、操業をしていましたが、でん粉価格の低下と、在庫の問題をかかえながらも工場運営に努力されておりました。

以上、簡単に報告しましたが、いづれも農業事業として前向きに検討して行く中で、非常に参考になる事が多く有意義な研修を行なう事が出来ました。

# わが家の人気者

ボクは小さなあばれん坊



武佐 清原孝志・朱美さんご夫妻  
長男 優威くん(1歳8カ月)

「わが家の人気者」ひさびさの登場は、清原孝志さん宅の元氣っ子優威くん(一歳八カ月)。  
少しづつおしゃべりも上達し、成長とともに、やんちゃぶりも発揮して家中をにぎわせています。  
「毎日生キズがたえないの」と、お母さんの朱美さんも笑います。

外へ出れば、清原家の犬の中で一番きかなかった犬も、優威くんの前ではたちうちできないとか。また、牛舎で乳検用のストロー



パパ、ママと一緒にハイチーズ

をもっていたずらしたりなど、元気で活発な男の子なのです。  
優威くんが生まれてから、もう何度か親子三人で遠出のドライブもしたというので、車に乗る事は大のお気に入り。たまあに、お父さんがハンドルをにぎらせてくれるのが楽しみだとか。  
トラクターにも乗せてくれるお父さんが大好きで、牛舎から上がってくる、大歓迎のポーズで抱きついていく姿は本当にカワイイのです。だからお父さんが出掛けるときは、大変な事になるのは想像

できますね…。  
同じ年頃の子を見て、喜びのあまりかけよって、押しとおしちゃう事もあるというおちやめさん。体は小さくても、元氣いっぱいなカワイイあばれん坊ってところかな？「大きくなったら、女の子がいっぱい集まってくるような男の子に」というお父さんと「髪を染めたり、ピアスをしないような子に」と笑いながら話すお母さん(誰の事かな?)。



家の中でも元氣いっぱいなのです

明るい家族に囲まれて、愛情いっぱいスクスク育っています。  
「今年の冬は、いっぱい外で遊べるな」と話しかけるお父さん。  
小さい長ぐつを用意して、雪が降るのを楽しみにしている優威くんでした。

# 産地ブランド型が急伸

畑作物の生育には遅すぎた感もありますが、晴天の続く秋になりました。また、例年より早く、初雪にしては多い雪が降りました。今年の不順な気候の延長か、来年の豊年の子兆なのか、複雑な思いがしました。

根室管内の飲用乳化を検討する委員として東京で大手スーパー三店、全農直販、全農の酪農部、大手乳業メーカーなどを視察、研修をしてまいりました。

牛乳の販売も時代の変化に伴い、宅配からスーパーでの購入が急伸して、全体の七〇割を占めています。各スーパーは、牛乳、乳製品の販売を重視しており、一番良い場所を設定していました。

当初は大手スーパーのPB品と、大手乳業のNB品が主流でしたが、現在では生産地表示のブランド差別化商品が数多く陳列されています。また、成分については低、高脂肪、無調整乳、加工乳、ししとまことに豊富な商品群をなしてい

ました。これらは世代別に需要が別れている様で、消費者の購入基準は価格、製造月日が中心だそうです。産地別では北海道産が圧倒的に多く、北海道と名がつけば良

●今月のたより……

## 組合長日誌

代表理事組合長  
三友 盛行



く売れていました。

ただし、北海道ブランドでも地域限定が喜ばれており、ふらの、十勝が優位で残念ながら根室は魚のイメージが先行しており、牛乳



生産地としての認知度は低く、今後の大きな課題です。消費者の北海道のイメージのアンケートでは、大草原、牧場、牛、サイロ、安全、健康、自然であり、このイメージが今後大切な要素であり、北海道に相應しい牛乳生産が期待されます。

牛乳の販売動向は従来八〇割を占めていた標準型が五六割に減り、産地ブランド型が二〇割に急伸し殺菌温度による差別型は縮小され、殺菌方法はあまり問われなくなっています。低脂肪、ビタミン、カルシウム添加型が一五割と伸びています。

消費者の求める牛乳の基準は価

格であり、百九十八円から百八十八円帯が一番多く、次は日附で、賞味期限ではなく、製造月日で判断する様です。そのために生産日からの計算ではなく製造日重視のため、産地パックではなく、消費地パックが生産の主流を占めています。また、販売の七〇割を支配するスーパーの発注時間がますます短くなり、生産地パックでは全く対応できません。

大手メーカーの作成した二〇〇一年までの牛乳市場の変化の想定では、酪農は工場的と自然的生産に大別され、NBと地域ブランドに二極化される。大手企業が世界の牛乳を輸入して内外国別、地区別牛乳が店頭に並ぶ。消費者は安全志向を基本的として、価格、本物、そして新鮮を志向してゆくであろう。この様な時代に十分対応できる地域は、自然風土に恵まれた根室です。酪農郷、根室のイメージを上げる地道な努力と、草地型酪農の完成を実現すれば、結果として消費者に選択される飲用乳になり、酪農安定につながるものと思えます。

# 生涯乳量を高める

● 単純な事故を防止して、産次数を高める

● 乾乳後期から泌乳前期に、一口でも多く食べさせる工夫をする

北根室管内の乳検産次数は三産次を下回っています。近年の増頭傾向も原因の一つですが、とう汰内訳では乳房炎と繁殖が大きなウエイトを占めています。中でもスタンション繋留時の分娩トラブルや乳頭の損傷は、経営に大きなダメージを及ぼします。単純な事故を回避する手立てをしましょう。

● 個体乳量に産次数を掛けた生涯乳量は二万単位で、金額は百四十〜百七十万円です(表一)。

● 分娩前後の栄養不足状態を少しでも軽減して、生涯乳量を高めましょう。

● 分娩間隔を適正化しよう

● 分娩後五十日経過したら授精可能です。初回種付日を早め、積極的な授精をしましょう。

● 牛床を広くしよう

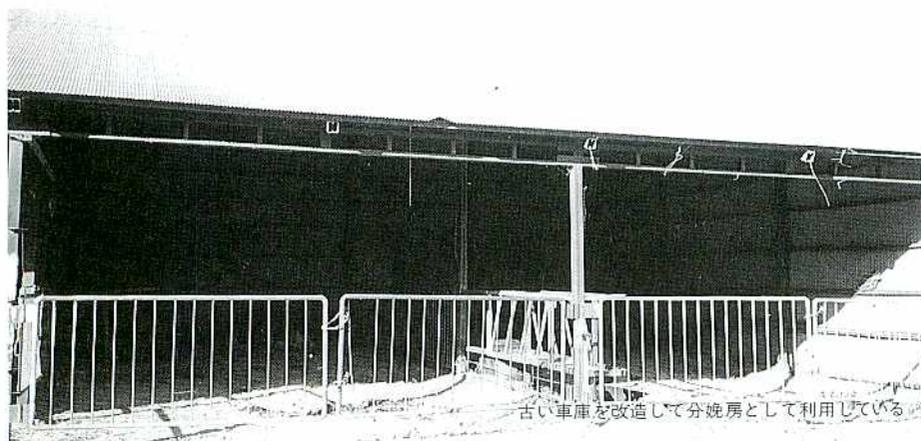
● 牛牛の体形が大型化し、牛床が



160cmの牛床を角パイプで175cmに改造

表1 平成7年乳検成績(1月~12月)

農協名	個体乳量(kg)	平均産次	初産分娩月齢(月齢)	分娩間隔(日)	初回種付日	個体乳量×産次①(kg)	①×75.75(T円)
標津町	7,949	2.9	28	413	87	23,052	1,746
羅白町	6,905	2.7	27	410	97	18,644	1,412
計根別	7,686	2.7	27	411	94	20,752	1,572
中標津町	7,423	2.8	28	403	84	20,784	1,574



古い車庫を改造して分娩房として利用している

狭くなっている牧場が多く見られます。寝起きにかかるストレスや立ち姿勢の悪さが、飼料の摂取量を減少させ疾病に対する抵抗力を

低下させます。

また、寝起きの際に副踏で乳頭を損傷する事故を少なくすることにもつながります。

L型アンクルや角パイプを、溶接やアンカーボルトで牛床端に固定し、広くすることで生産性を高めている牧場もあります。

### 分娩房の設置

乳牛が繋留されて無理な体勢で分娩すると、起立不能になったり、仔牛が尿溝に落ちて気がつかないといった事故の可能性が高くなります。

屋根と風を防ぐ壁があれば、分娩房は古い物置きを利用してでもできます。広さは三・六m×三・六m以上は必要です。

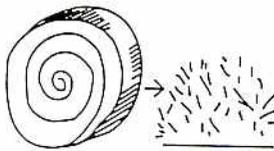
床は火山灰のように柔らかい方が良く、トラクターが入りできる様にしておくと便利です（二十五頭毎に一房）。

分娩前後の栄養の不足する時期に、飼料を一口でも多く食べさせるため図のような工夫をしましょう。

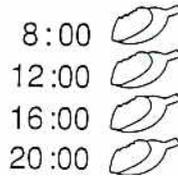
## 食わぬなら食わせてみよう乾乳牛・泌乳牛

(一口でも多く食べさせる工夫)

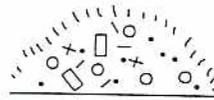
### ① 細切



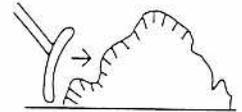
### ② 多回



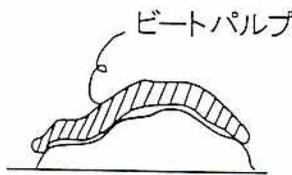
### ③ 混合



### ④ 寄せて山



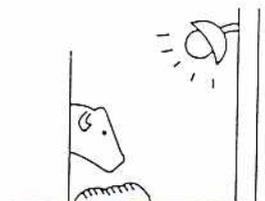
### ⑤ フリカケ



### ⑥ 嗜好性



### ⑦ 照明で夜でも食べれる



### ⑧ 低カリウム粗飼料

Kは2.5%/DM以下



気象概況  
この期間、前半は気温の変動が大きいでしょう。この期間の平均気温と降水(雪)量は平年並の見込みです。  
十一月 天気は周期的に変わりませんが、低気圧の通過後は冬型の気圧配置となり、日本海側では曇りや雨または雪の日が多いでしょう。気温の変動が大きい見込みです。  
十二月 時々冬型の気圧配置となり日本海側やオホーツク海側は曇りや雪または雨の日が多く、太平洋側は晴れの日が多いでしょう。気温の変動が大きい見込みです。  
一月 時々、冬型の気圧配置となつて、日本海側やオホーツク海側では曇りや雪の日が多く、太平洋側では晴れの日が多いでしょう。

## 3か月子報

北海道地方長期予報

財団法人気象協会北海道本部



# 暮らしの

## 知恵森



冷え性にならないために

北根室地区農業改良普及センター

夏の無理がこれから発症する

貧血と並んで冷え性は女性の「専売特許」のように言われています。程度の差はあれ、女性の約半分は冷え性に悩まされており、更年期の特に体を動かさない人に多く見られます。

最近では生活環境が改善され、四季を通じて快適な状態になってきました。特に夏は薄着になります。が、快適さを求めてクーラーなどで室温を低く設定しますので、じわじわと体温が奪われ、十一月頃になると冷やしすぎた人には、いろいろと障害がでてきます。中国の古典「黄帝内経素問」にも夏の

無理が秋に発病し、さらに冬に悪化する、と記されているほどです。

冷え症の原因は食生活にもある。冷え症の原因は、夏場の冷やしすぎの他にも、食事の内容が大きな要素を占めています。食べ物には体を冷やす作用を示すものがあり、冷え症の人は午後からはできるだけ、体を冷やす食べ物を選ばないよう努力することが大切です。

また、よく煮込んだ野菜は消化がよく、海藻類は最良のカルシウムと食物繊維を含んでいます。腸の働きを活発にするとともに、体内温度を高め、肌潤いを与えます。冷え性の人は、よく煮込んだ

### 〈体を冷やす食べ物〉

生野菜 特にトマト、スイカ、メロン類、キュウリ、なす  
果物 特に梨、柿、ブドウ、りんご、バナナ、パイナップル  
白菜、青菜の塩もみ、一夜漬、浅漬  
白砂糖および白砂糖を使った羊羹、生菓子、アイスクリーム、チョコレート、サイダー、ジュース、ラムネビール、上質の茶

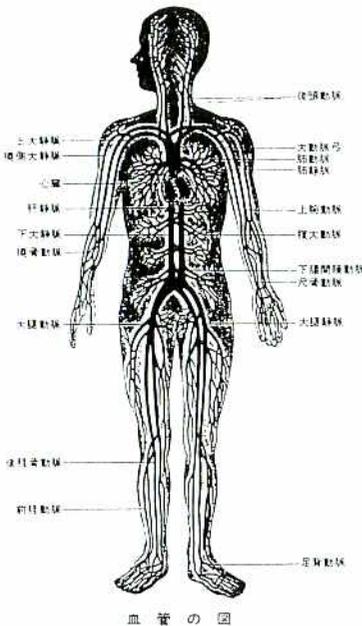
だ季節の野菜や海藻類を積極的に摂るように心がけましょう。からだの仕組みを考えた保温を心がけよう

体を冷やさないようにと、多くの人は足や腰より上半身を中心に着込み、ダルマのようになりますが、これはからだの仕組みに反した保温の仕方といえます。

体の表面積の四〇割を占める広い部分は脚部です。恒温動物である人間は、体内で発生した余熱を放散しやすい構造になっており、逆の見方をすると冷えやすい体といえます。

上半身の冷えた血液は、肺を経由して心臓に運ばれますが、肺は冷えに強い臓器なので体に与える影響は少ないのですが、脚部と下腹部の冷えた血液は腿の付け根から体内に入り、脊椎に沿って心臓に達する間に、膀胱、子宮、小腸などを直接冷やすため、生理機能の低下、障害を起こします。

一年を通して上半身は薄着でも、下半身は十分保温するように心がけましょう。



血管の図

# 理事会

## の経過

### 第十回理事会

開催日時 平成八年十月二十八日  
開催場所 中標津町農協中会議室

#### 〈審議事項〉

- 一、平成八年度九月末財務状況及び予算統制計画について
- 二、なかしべつフーズ㈱の清算処理について
- 三、なかしべつフーズ㈱の転リース契約について
- 四、根室畜産振興公社に対する課徴金の支払いについて
- 五、平成九年度営農計画樹立について
- 六、新規投資に伴う貸付基準の見直し(案)について
- 七、食料・農業・農村地域に関する新たな基本法の制定に向けてのJAGグループの考え方、中間取りまとめ討議原案について

#### 〈協議事項〉

- 一、第二十回根室管内農業賞受賞候補者の推薦について
- 二、平成八年度農薬精算方法について

#### 〈報告事項〉

- 一、平成八年度九月末購買事業概況について
- 二、くみあい配合飼料系統結集三年運動について
- 三、平成八年度九月末金融事業概況について
- 四、生乳生産状況について
- 五、乳製品工場操業状況について
- 六、でん粉工場操業経過実績について
- 七、平成八年九月末組勘状況について
- 八、役員視察研修の報告について

## 丹精こめた見事な菊の花

### 第15回 なかしべつ菊花展



第十五回なかしべつ菊花展が、十一月一日〜十一月四日まで中標津町総合文化会館で開催されました。

また、即売コーナーでは野菜生産組合の越冬野菜、つけもの、いもだんごなどの販売も行なわれました。

今年の菊花展には、なかしべつ菊花同好会、中標津農業高等学校などが、色あざやかに咲いたみごとな大輪菊二百五十九点、懸崖菊四十八点、盆栽菊三十二点、福助菊五十八点、自由菊三十二点、一輪差三十五点の展示作品、合わせて四百六十一点が文化会館ロビーに並べられ、訪れた人たちを魅了させていました。



# 税 知っておきたい 税の知識

## 消費税法 の改正

税です。

### 一、地方消費税とは

地方分権の推進、地域福祉の充実などのため、地方税源の充実を図ることとし、消費譲与税に代えて、「地方消費税（道税）」が新たに創設されます。

地方消費税の申告と納税については、消費税の確定申告書を提出する義務がある事業者が、消費税の申告期限までに消費税の申告書と併せて税務署長に提出し、申告した消費税額と地方消費税額を併せて納付します。

したがって、事業者は、消費税と同一の申告書・納付書により消費税と併せて、同時に地方消費税を申告・納付することとなります。

### 二、経過措置

今回の改正に当たっては、税率の適用に関して次に掲げる経過措置が設けられています。

(一)平成九年四月一日前に領収して

いる旅客運賃、映画・演劇などの入場料金などで、その乗車、

または入場などが平成九年四月

一日以後に行なわれるものについては、現行税率（三割）が適

用されます。

(二)平成九年四月一日前から継続して供給、または提供される電気、

ガス、水道水及び電話などの料金で、平成九年四月一日から平成九年四月三十日までの間に確定する料金については、現行税率（三割）が適用されます。

(三)平成九年四月一日以後に完成、引渡しが行なわれる工事など（製造を含みます）であっても、平成八年九月三十日までに請負契約などが締結されているものについては、現行税率（三割）が適用されます。

(四)平成八年九月三十日までに締結した資産の貸付契約に基づいて、平成九年四月一日前から引き続きその契約に係る資産の貸付けを行なっている場合で、その内容が一定の要件に該当するものについては、現行税率（三割）が適用されます。

(五)その他、役務の提供に関する経過措置、予約販売に係る書籍などに關する経過措置など、所要の経過措置が設けられています。

## 個人事業税の 第2期分の 納期限は 12月2日です

個人事業税は、道内に事務所や事業所を設けて、事業を行なっている個人の方に、その事業の所得を基礎として納めていただく道税です。

第二期分の納期は十一月十五日(金)から十二月二日(月)までです。

納付書は八月に第一期分の納付書と一緒に送付していますので、お確かめのうえ、銀行、郵便局など、お近くの金融機関で納期内に納めてください。

納付書を紛失した場合などは、根室支庁総務部税務課までお問合せください。

なお、納税には便利で確実に口座振替をおすすめします。

☎(01532)3-6131  
内線2334・2335

活力ある福祉社会の実現を目指した様々な視点から、所得税及び消費税などの税制の見直しが行なわれていますが、そのうち消費税については、①税率を新たに創設される地方消費税と合わせて五割とする、②中小事業者に対する特例措置を見直す、などの改正が行なわれ、平成九年四月一日から適用されます。

そこで、主な改正点について説明しましょう。

消費税の税率が変わります。

平成九年四月一日以後に行なわれる取引に対する消費税の税率が、五割（現行三割）になります。

(五割のうち、一割は、地方消費

# 手づくりチーズにチャレンジ

## 女性部チーズ作りの講習会

十月九日と十七日に中標津町畜産食品加工研修センターで、チーズ作り講習会を行いました。

「手づくりチーズを作ってみたい」との部員の声で、参加を呼びかけたところ、多数の希望があり、十月九日に一班、十七日に二班が受



今回はSTRINGチーズを作りました



「上手につくれるかな?」

講、さらに十一月に三班が行く予定となりました。

この計根別の加工センターで受けられる講習では、自分達でチーズをつくる時のコツなども教えてくれるので、参加の皆さんはしつかりメモをとり、「今度は自家製のチーズを作るぞ」とはりきっていました。

# 環境にやさしい染め方で…

## 管内女性部 植物染講座



紅茶やばん茶、干しいたけで、染められるのです



千歳市から来たすみ寿子氏

十月二十九日にJA根室地区女性協主催による植物染講座が、根室農業会館で開催されました。管内の女性部員が多数集まり、身近にある植物を持ちよって、すみ寿子講師の指導を受けながら、実際に染めるという実技を行いました。

この染め方は、媒染剤を使わない環境にやさしい方法で、身近なものでも染め物ができるので、参加の皆さんも真剣に講習を受けていました。



売れ行き上々の「伯爵」

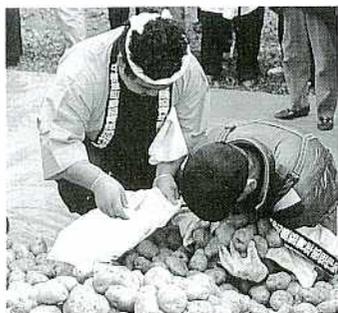
# フ オ ト ア ス ル ズ ム

## 第30回 養老牛温泉紅葉まつり

農協青年部畑作部会では、10月6日、養老牛温泉紅葉まつりに、じゃがいも「伯爵」の販売PR、なかしべつミルクロードによる乳製品の販売PR、それぞれ参加しました。

当日は、天候に恵まれ大勢の人々にぎわい、お客さんの中には、毎年紅葉まつりに来て「おいしい伯爵を買うのが楽しみ」と話すお客さんもいて、用意した「伯爵」は、ほぼ完売。

また、じゃがいもつかみどりや、お楽しみ抽選会、歌謡ショーなどが行なわれ、まつりムードに拍車をかけました。



ハッピーを使うと反則だヨー

## 入植以来30年の節目 南俵橋地区収穫祭

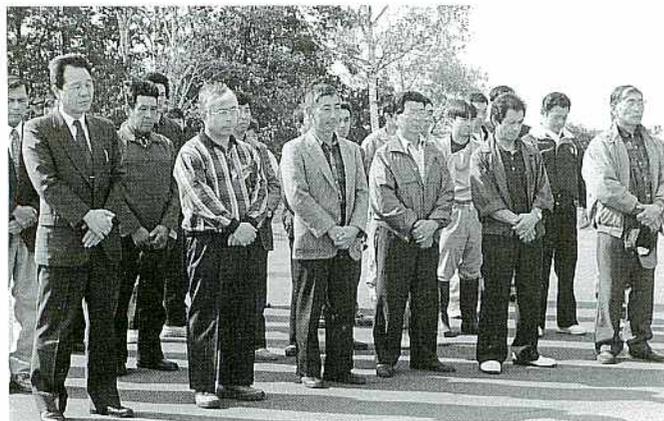
10月12日、俵橋生活館において南俵橋地区収穫祭が開かれました。

この収穫祭は、収穫の喜びと地域の交流を深め一年の無事を祝うもので、今年で入植以来30年の節目となる年です。

収穫祭では、午前11時より式典が行なわれ、神主の祝詞に続き佐々木政行、南俵橋連合会会長をはじめ、



挨拶する南俵橋連合会会長・佐々木氏



真剣な面持ちで神主の祝詞を聞きみなさん

各関係機関を含め大勢の人が玉くしを捧げられました。

また、正午から焼肉パーティー、その後、パークゴルフ、アトラクションなどが行なわれ、楽しい親睦交流の場となりました。

# 秋の 収穫祭

Jrホルスタイン  
クラブ  
パンプキン祭り



たくさんのかぼちゃが集まった収穫祭

中標津町農協ジュニアホルスタインクラブ主催によるパンプキン祭り（おばけかぼちゃ収穫祭）が10月26日、農協駐車場で開催されました。

この収穫祭は、同クラブ員が春から育てあげたかぼちゃを一同に集め、重さやハロウィン作り、観察日記などを紹介しコンテストする祭りです。

また、コンテスト終了後、父田を交え焼肉で交流を深め、実りある秋の収穫祭となりました。

おばけかぼちゃコンテスト結果(各部5位まで)  
重量の部 1位・開陽小学校 2位・上村 美佳  
3位・開陽小学校 4位・佐々木 恵  
5位・刈田あやか

観察日記の部 1位・尾藤康平 2位・保科 潤  
以下なし

ハロウィンの部 1位・下山健一 2位・保科 匡  
3位・広瀬寿樹  
4位・開陽小学校

# 朝市、 今年度 事業終了!

中標津町野菜生産組合



最終の朝市も大勢のお客さんでにぎわいました

5月24日から毎週金曜日に開催していましたが中標津町野菜生産組合（房川秀子組合長）の朝市が、10月4日を最終に今年度事業を無事終了いたしました。

今年は天候不順により、野菜の出来が心配されたものの、計画通り20回の開催を行なう事が出来ました。

## 10月の 組合日誌

- 7日 農協略対役員会
- 11日 馬鈴しょ出荷督励  
" 第9回役員協議会
- 18日 青年部役員会
- 24日 管理購買委員会
- 28日 第10回理事会
- 29日 定例自治監査  
(11月2日まで)

## 編集後記

11月を迎え朝、晩の冷え込みが厳しくなりました。

馬鈴しょや、てん菜の収穫作業、堆肥散布など忙しい日々が続きますが、順調に進んでいるでしょうか。くれぐれも事故、怪我のないよう十分注意して下さい。

先日、ある情報紙を読んでいたら、「秋におこりやすい病気」について書いてありました。それは鉄欠之性貧血で日常しばしば見られる病気で、女性が男性より多く、赤血球の減少に比べてヘモグロビンの減少が著しい特徴があり、疲れやすい、めまい、耳鳴り、動悸、息切れなどの症状で、レバー、海草、しじみ、あさり、うなぎ、赤身の肉、ホーレン草など鉄分の多い食べ物を摂る様にしましょう。また、カゼなどひかぬ様、健康管理にも十分気を付けて下さい。



今年には天候のせいで畑作状況には厳しいものがありますが、収穫作業もいよいよ追い込みとなりました。

さて年末に近づくにつれ、組合員の皆さまのお宅に悪質な訪問販売員が回っているとの話しを聞きます。訪問販売では長時間居座るものや、独特の甘い言葉などで、法外な値段で商品を購入させられるケースがあります。

先日もある組合員のおばあちゃんから電話がありました。「家族が不在の時に、物干し竿の訪問販売が尋ねてきて、「買ってくれないと困る!」と、凄まれてやむを得

ず四万円(?) 近くの物干し台を買ってしまった、くやしくて、くやしくて、誰かに話したくって。階段から落ちてケガしたつもりであきらめたのですが、まず聞いて下さい!」と、電話口で怒りに震えた声。

このような訪問販売に対してはいまいな返事をしないで、きっぱりと断ることが必要です。皆さんくれぐれもお気を付け下さい。

購入しようとするときに、業者が重要なことについてウソをついたり、クーリング・オフを妨げるなどの禁止行為に対して、法律は懲役などの厳しい刑罰を科すこともあります。

困ったとき、おかしいと思ったとき、そんなときはとにかくここに相談してみてください。

釧路市消費生活センター  
☎0154-24-3000